

平成30年度 事業報告

公益財団法人 熊本県総合保健センター

平成30年度 事業報告

1 総括

平成30年度の事業実績については、地域保健は261,302人（計画比98%）、職域保健は96,815人（計画比103%）、学校保健25,534人（計画比104%）となり、合計は383,651人（計画比100%）であった。

地域保健では、移動健診は全体的に減少傾向にあり、特に胃がん検診は減少が大きくなっている。これは、高齢者を中心とした胃部X線検査離れが原因と考えられる。一方、施設健診では微増となった。

職域保健では、特に協会けんぽ健診が移動、施設健診とも増加した。

特定保健指導については、協会けんぽでの初回分割実施などを推進したことにより大幅に増加した。

また、「熊本県健康増進計画（第4次くまもと21ヘルスプラン）」、「第3次熊本県がん対策推進計画」に健診機関として「質の高い健診の提供や健康に関する情報提供」などの役割が示されたことを受け、健診データ分析・還元に関するワーキンググループを設置した。

最後に長年の課題である新健診システム導入について、受診者満足度向上と業務効率化の視点により2021年度稼働に向け開発を行うこととし、開発業者を（株）アイテック阪急阪神（大阪市）に決定した。

平成30年度事業計画における重点目標の取組状況について

（1）保健事業の推進

地域保健の移動健診については、がん検診が全体的に減少する中、熊本市冬季大腸がん郵送検診は申し込み方法の変更などにより増加した。また、施設健診については、ハガキによる受診勧奨などにより熊本市住民検診が微増となった。

職域保健については、協会けんぽと連携した勧奨、休日健診を実施したことにより受診者数が大きく増加した。特に施設健診では、精密検査を縮小し健診体制を見直したことによりNTT西日本の健診や協会けんぽの人間ドックが大きく増加した。

また、受診者休憩室の整備、空調設備の更新など環境面の改善を行い受診者満足度の向上を図った。

（2）業務効率化及び精度管理の向上

移動健診で使用する健診データ収集システム端末（PDA）を更新し、検査モレ防止など機能強化を図った。今後は、新健診システムとの連携による効率化の検討を進めることとしている。

なお、労務管理システムについては、新健診システムとの連動により効率化が期待できることから引き続き検討を行うこととした。

また、がん検診の精度管理として重要な精密検査受診率について、精密検査勧奨モデル事業を引き続き阿蘇地区3町村で実施し受診率の向上に貢献した。今後、他の市町村への展開にむけ課題の整理を行うこととした。

さらに「定期健康診断等における診断項目の取り扱いについて」（労働基準局長通達）を踏まえ、事業所へ適切な健康診断の実施を求めたことにより、労働安全衛生法に基づく健康診断への移行だけでなく協会けんぽ健診の増加にもつながった。

（3）健康支援活動の充実

特定保健指導については、地域において、八代市からの新たな受託、また、職域においては、生活習慣改善の意識付けのため、協会けんぽ健診受診者を対象に健診と同日に行う初回面談分割を実施した結果、1,798人（前年比516人増）を実施した。

また、移動健診においても初回面談分割を実施するべく事業所への働きかけや内部体制の調整など実施に向けた取組みに着手した。

一方、スタッフ育成について、多様化する健康課題を支援するために産業カウンセラーの育成を行い、産業保健スタッフによるメンタルヘルス、禁煙及び個別相談など各種面談の充実を図った。

さらに、健診データ分析・還元に関するワーキンググループにおいて市町村等へ効果的な事業提案が行なえるよう、熊本大学公衆衛生学教室の指導のもと各団体の健康課題の分析に着手した。

2 保健事業実績

当センターが実施する保健事業は、「地域保健」、「職域保健」、「学校保健」の3つに分けられ、平成30年度実績数は、以下のとおりである。

(1) 地域保健

① 移動健診

(単位：人)

健(検)診項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B-A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
特定健康診査	24,730	24,362	△368	24,228	134	101%
ふるさと総合健診	9,480	9,340	△140	9,401	△61	99%
胃がん検診	18,980	17,939	△1,041	18,825	△886	95%
子宮頸がん検診	15,695	15,206	△489	15,483	△277	98%
乳がん検診	21,830	21,088	△742	21,406	△318	99%
肺がん検診	39,190	38,385	△805	38,885	△500	99%
大腸がん検診	22,140	22,321	181	22,153	168	101%
結核検診	46,090	45,370	△720	45,904	△534	99%
骨粗鬆症検診	8,470	8,154	△316	7,653	501	107%
腹部超音波検診	34,090	33,464	△626	33,521	△57	100%
前立腺がん検診	8,225	8,169	△56	8,124	45	101%
肝炎ウイルス検査	1,640	1,549	△91	1,629	△80	95%
小計	250,560	245,347	△5,213	247,212	△1,865	99%

達成率 98%

② 施設健診

(単位：人)

健(検)診項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B-A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
特定健康診査	1,950	2,049	99	1,868	181	110%
日帰りドック等	941	945	4	1,012	△67	93%
胃がん検診	1,700	1,700	0	1,609	91	106%
子宮頸がん検診	1,540	1,795	255	1,514	281	119%
乳がん検診	2,042	2,325	283	1,975	350	118%
肺がん検診	2,400	2,463	63	2,318	145	106%
大腸がん検診	1,990	1,999	9	1,926	73	104%
結核検診	2,310	2,463	153	2,318	145	106%
骨粗鬆症検診	45	31	△14	37	△6	84%
前立腺がん検診	100	107	7	106	1	101%
肝炎ウイルス検査	7	78	71	16	62	488%
小計	15,025	15,955	930	14,699	1,256	109%

達成率 106%

地域保健	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B-A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	265,585	261,302	△4,283	261,911	△609	100%

達成率 98%

(2) 職域保健

① 移動健診

(単位：人)

健（検）診項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B-A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
定期Aコース	6,060	4,239	△1,821	6,241	△2,002	68%
定期Bコース	12,030	14,729	2,699	13,116	1,613	112%
生活習慣病予防コース	1,960	1,936	△24	1,865	71	104%
協会健保（一般）	2,910	3,919	1,009	2,903	1,016	135%
特殊健診	8,240	8,215	△25	8,215	0	100%
特定健康診査	1,750	1,822	72	1,876	△54	97%
結核検診	5,845	5,397	△448	6,034	△637	89%
胃がん検診	730	653	△77	1,003	△350	65%
子宮頸がん検診	300	327	27	292	35	112%
乳がん検診	360	389	29	351	38	111%
大腸がん検診	3,350	3,603	253	3,477	126	104%
腹部超音波検診	980	1,527	547	1,173	354	130%
ストレスチェック	8,030	7,406	△624	7,962	△566	93%
小計	52,545	54,162	1,617	54,508	△346	99%

達成率 103%

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B-A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
定期Aコース	1,440	1,012	△428	1,517	△505	67%
定期Bコース	7,590	7,209	△381	7,544	△335	96%
生活習慣病予防コース	3,440	3,493	53	3,535	△42	99%
協会健保（一般）	8,200	8,946	746	8,393	553	107%
協会健保（ドック）	1,500	1,715	215	1,551	164	111%
各種人間ドック	3,701	3,728	27	3,427	301	109%
特殊健診	1,570	1,626	56	1,584	42	103%
特定健康診査	1,060	912	△148	1,022	△110	89%
胃がん検診	760	751	△9	775	△24	97%
子宮頸がん検診	2,930	2,987	57	2,945	42	101%
乳がん検診	4,055	3,928	△127	4,024	△96	98%
大腸がん検診	800	755	△45	799	△44	94%
腹部超音波検診	1,450	1,454	4	1,449	5	100%
ストレスチェック	3,150	4,137	987	3,856	281	107%
小計	41,646	42,653	1,007	42,421	232	101%

達成率 102%

職域保健	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B-A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	94,191	96,815	2,624	96,929	△114	100%

達成率 103%

(3) 学校保健

① 教職員

(単位：人)

健（検）診項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
結核検診	6,625	6,757	132	6,704	53	101%
結核検診（精密）	25	26	1	31	△5	84%
胃がん検診	3,780	3,299	△481	3,421	△122	96%
小 計	10,430	10,082	△348	10,156	△74	99%

達成率 97%

② 学生

(単位：人)

健（検）診項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
結核検診	11,500	12,340	840	11,642	698	106%
結核検診（精密）	10	6	△4	13	△7	46%
ツベルクリン反応・BCG	0	0	0	1	△1	0%
尿・心電図・貧血・診察	2,700	3,106	406	2,770	336	112%
小 計	14,210	15,452	1,242	14,426	1,026	107%

達成率 109%

学校保健	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合計	24,640	25,534	894	24,582	952	104%

達成率 104%

～ 実績合計 ～

(単位：人)

移動健（検）診	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合計	327,745	325,043	△2,702	326,301	△1,258	100%

達成率 99%

(単位：人)

施設健（検）診	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合計	56,671	58,608	1,937	57,121	1,487	103%

達成率 103%

(単位：人)

総合計	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
	384,416	383,651	△765	383,422	229	100%

達成率 100%

(4) 特定保健指導

特定保健指導は、センターが実施する健康診断の受診者に対して行う保健事業である。

健診受診後の生活習慣改善につなげるための重要な事業である。

保健師、管理栄養士が、センター施設内及び各地域へ出向き実施する。

〔地域 移動〕

(単位：人)

特定保健指導項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	695	745	50	570	175	130.7%
積極的支援	178	163	△15	122	41	133.6%
合計	873	908	35	692	216	131.2%

〔地域 施設〕

(単位：人)

特定保健指導項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	69	52	△17	72	△20	72.2%
積極的支援	13	18	5	13	5	138.5%
合計	82	70	△12	85	△15	82.4%

〔職域 移動〕

(単位：人)

特定保健指導項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	108	25	△83	66	△41	37.9%
積極的支援	187	62	△125	116	△54	53.4%
合計	295	87	△208	182	△95	47.8%

〔職域 施設〕

(単位：人)

特定保健指導項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	157	253	96	140	113	180.7%
積極的支援	371	480	109	183	297	262.3%
合計	528	733	205	323	410	226.9%

～ 特定保健指導 実績合計 ～

(単位：人)

特定保健指導項目	平成30年度 計画 A	平成30年度 実績 B	計画比 (B - A)	平成29年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	1,029	1,075	46	848	227	126.8%
積極的支援	749	723	△26	434	289	166.6%
合計	1,778	1,798	20	1,282	516	140.2%

達成率 101%

(参考)

当センターでは、健康診断後のフォローのため、実施主体の結果説明会において結果の見方や栄養指導等の説明を行っている。

結果説明会（情報提供）実施状況

	結果説明会			
	実施日数	実施回数	会場数	実施人数
合計	65	86	36	5,596

(5) 産業保健活動

産業医受託事業所に対し、職場巡視の実施及び衛生委員会への参加をはじめ、特定保健指導、健診事後指導、さらにはメンタルヘルスや長時間労働に関する各種面談を実施するなど、働く方々の健康保持増進、快適な職場環境形成のための取り組みを行った。

なお、産業医事業所を対象とした産業保健セミナー及び衛生教育に関する健康講話の実績等については、普及啓発活動に記載する。

(6) がん検診の精度管理

がん検診における精度管理のひとつとして、検診後の精密検査結果を把握し、その集計統計から発見されるがんの数などを全国レベルと比較している。

また、発見されたがんについては、「発見がん個票」を作成し、がんのステージや組織分類等について追跡調査を行い、関係市町村と連携し受診者の事後管理に努めている。

なお、日本対がん協会へ報告を行った平成28年度におけるがん検診の実績は下表のとおりである。

	発見がん数 (人)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	がん発見率 (%)
肺がん検診	22	0.39	88.26	0.04
	1,816	2.06	79.94	0.05
胃がん検診	38	4.31	75.67	0.08
	2,403	6.50	79.92	0.11
大腸がん検診	60	6.34	66.58	0.12
	4,142	6.06	69.67	0.16
子宮頸がん検診 ※	31	3.37	81.10	0.10
	614	1.47	81.65	0.05
乳がん検診	68	4.09	85.50	0.22
	3,113	4.70	90.58	0.24
総数	219			
	12,088			

※ 子宮頸がん検診の発見がん数には、上皮内癌を含む。

※ 各項目の上段にセンター実績、下段に全国実績を記載している。

がん検診のプロセス指標（許容値）

指標	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検率	3.0%以下	11.0%以下	7.0%以下	1.4%以下	11.0%以下
精検受診率	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上
がん発見率	0.03%以上	0.11%以上	0.13%以上	0.05%以上	0.23%以上

3 がん登録事業

熊本県からの委託事業として、県内医療機関等の協力を得て、地域がん登録に係る登録票 80 件、全国がん登録に係る登録票 20,402 件を受理し、県全域にわたるがん情報の登録を行った。

また、熊本県の地域がん登録事業における平成 27 年のがん罹患統計をまとめた「熊本県のがん登録（2015）」を作成し、関係機関へ配布するとともに熊本県ホームページで公開した。

熊本県のがん登録事業は、非常に高い登録精度を保っていることから、2014 年集計分から厳しく見直された精度基準（A 基準）を満たす対象地域 41 県に含まれ、さらには日本がん登録協議会より「都道府県がん登録実務功労賞銀賞」を受賞した。

4 普及啓発活動

法人独自による公益目的事業のための普及啓発活動はもとより、公益財団法人結核予防会及び公益財団法人日本対がん協会の熊本県支部としての普及啓発を行った。

また、講演会の実施や地域イベントへの参加などを通じ、広く県民へ健康づくりのための普及啓発を行った。

（1）自主事業

① 地域保健研修会

平成 30 年 11 月 6 日（火） 熊本市 ホテル熊本テルサ 参加者 130 名

熊本県内の市町村及び事業所の保健師及び健康管理担当者等を対象に、栄養・食生活にポイントをおいた保健指導、また、健康経営への活用についての講演及びセンター事業の報告を行った。

講演

『時間栄養学を活用して効果の見える保健指導と健康経営の実現』

有限会社 クオリティライフサービス

代表取締役 小島 美和子

（管理栄養士・健康運動指導士）

情報提供

「県民のみなさんの健康づくりを応援します！」

～第 4 次くまもと 21 ヘルスプランにおける栄養・食生活対策～

熊本県健康福祉部 健康づくり推進課 内田 珠美

報告

「デジタル化の功罪」

診療放射線技師 井手 将文

「がんの早期発見は“えがおのエッセンス”」

～モデル地区精検受診率向上プラン（第2報）～

保健師 宇土 星香

「Let's いきいき職場づくり」～ストレスチェック活用法～

保健師 堀口 真愛

「誤解してませんか？～胃がんの原因ピロリ菌～」

所長 土亀直俊

② 産業保健セミナー

平成31年1月22日（火） センター大研修室 参加者47名

産業医受託事業所の経営者及び健康管理担当者等を対象に「増やそう!!★いきいき従業員★」と題してセミナーを開催した。

セミナーでは、熊本県産業保健総合支援センター副所長土山洋之先生による「事業場担当者が知っておきたい、労働安全衛生法改正」についての講演、また、大塚製薬（株）熊本支店の葛西雅美先生により「アンチエイジングなライフスタイル」と題し、働く人のライフサイクルとホルモンについて講演が行われた。さらに、当センターが監修したバランス弁当の試食会を兼ねたランチョンセミナーにおいて、事業所における産業保健支援活動について報告を行った。

③ 健康講話等

産業医受託事業所等と連携し、それぞれの事業所が抱えている健康課題に合わせ、生活習慣、職場環境及びストレスチェックに関する講話を実施するなど、積極的に産業保健活動を推進した。

区分	内容	回数
生活習慣関連	喫煙・アルコールの影響 メタボ改善・睡眠と食等	20回
職場環境関連	健康経営の導入 長時間労働の改善 等	7回
メンタルヘルス関連	ストレスチェック結果分析報告 参加型職場環境改善プログラム アンガーマネジメント等	30回
その他	熱中症・応急処置・感染症 インフルエンザ対策等	16回
合 計		73回

(2) 支部事業

① 複十字シール運動「知事表敬訪問」

平成30年8月6日（月） 熊本県庁

複十字シール運動開始に合わせ、熊本県健康を守る婦人の会役員、当センターマスコットキャラクター「そうほくん」とともに、蒲島郁夫熊本県知事を表敬訪問し結核の現

状及び複十字シール運動の趣旨説明を行い運動への協力をお願いした。

なお、今年度の募金総額は、6,832,075円であった。

② 結核予防・がん征圧街頭キャンペーン

平成30年9月17日(月・祝) 御船町 ショッピングプラザマイン
ヘルシーデイくまもと2018

平成30年9月24日(月・祝) 熊本市動植物園

全国一斉結核予防週間及びがん征圧月間に係る行事として、県民への結核・がんに対する正しい知識の普及啓発のため、熊本県健康を守る婦人の会 上益城支部及び熊本市支部、御船保健所、熊本市とともに、無料の結核検診をはじめ、結核パネルや肺がんモデルの展示、結核予防に関する資料の配布、複十字シール運動募金及び健康相談を行った。また、ヘルシーデイくまもと2018では、熊本県のマスコットキャラクター「くまモン」も駆けつけ、「そうほくん」とともにイベントを盛り上げた。

③ 九州地区結核予防婦人団体幹部講習会

平成30年11月14日(水)・15日(木) 熊本市 ホテルメルパルク熊本

九州各県の結核予防婦人会及び行政職員等を対象に結核撲滅に向けた講習会を開催した。結核研究所森亨先生を始め、熊本南病院の山中徹先生、複十字病院の千住秀明先生をお招きし、結核の現状と課題や治療の最前線、COPD(慢性閉塞性肺疾患)について講演が行われた。婦人会活動に焦点をあて開催したシンポジウムでは、結核の撲滅に向けた婦人会活動の推進について意見が交わされた。

④ リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018くまもと

平成30年5月12日(土)・13日(日) 熊本市 白川公園

8回目の開催となるがん患者支援・がん啓発24時間ウォークチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」を、リレー・フォー・ライフくまもと実行委員会とともに開催し、スローガン「心ひとつ絆つむいで」のもと、多くの県民の方々と交流を行った。

(3) 協力事業

① 2018宇城市フラワーフェスタ

平成30年4月14日(土) 宇城市

がんや結核予防など健康づくりをテーマに「そうほくんクイズ大会」を実施し、来場者へ健診受診に向けた普及啓発を行った。

② 熊本市 「第41回火の国まつり おてもやん総おどり」

平成30年8月4日(土) 熊本市

当センターのPRと職員のコミュニケーション向上を目的にセンター職員及び家族など39名が参加し健診受診を呼びかけた。

③ 菊池郡市薬剤師会市民公開講座「第9回薬と健康教室」

平成30年8月19日(日) 菊池市文化ホール

劇団メロン with そうほくんによる寸劇「メタボって、ハンパないって！」に出演し、来場者へ向け生活習慣病の予防や上手な薬局の活用法などについて呼びかけた。

④ ジャパン・マンモグラフィー・サンデー

平成 30 年 10 月 21 日（日） 日曜健診

子育て・介護・仕事など多忙な日々を過ごす女性のために「10 月の第 3 日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境作り」を提唱する「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー（JMSプログラム）」に賛同し、乳がん検診をはじめ、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診を当センター施設で実施した。

⑤ 熊本大学学園祭における子宮頸がん検診（K発プロジェクト）

平成 30 年 11 月 3 日（土・祝） 熊本大学 黒髪キャンパス

子宮頸がんに対する正しい知識と子宮頸がん検診の重要性について、熊本大学の学生と連携し普及啓発を行い、併せて実施した無料の子宮頸がん検診では学生など 60 名が受診した。

また、K発プロジェクトで活動している崇城大学の学生へも子宮頸がん検診無料クーポン券を提供するなど検診の普及を図った。

⑥ 健軍商店街 「健康フェア&よかもん市」

平成 30 年 11 月 18 日（日） 熊本市

がんや結核予防など健康づくりをテーマに「そうほくんクイズ大会」を実施した。

また、日本対がん協会が発行する乳がん・子宮頸がん検診無料クーポン券の配布など地域住民へ健診受診に向けた普及啓発を行った。

⑦ あさひば「第 31 回市民のつどい」

平成 30 年 11 月 25 日（日） 熊本市 秋津まちづくりセンター

「あさひば」（秋津・桜木・桜木東・若葉校区）4 校区の連携及び地域活性化のため行われているイベントにおいて、無料の骨粗鬆症検査を 30 名に実施した。

⑧ 市営さくら団地における健康講話

平成 31 年 2 月 24 日（日） 熊本市営東町さくら団地集会所

地域の健康づくりを支援するため、「運動のチカラ～ロコモ予防の観点から～」というテーマで、運動のメリット・デメリットやロコモ予防など実践を交えながら講演を行った。

⑨ 第 14 回 宇城市健康フェア 2019

平成 31 年 3 月 21 日（木・祝） 宇城市保健福祉センター

『「健・食・動」で糖尿病・高血圧予防』をスローガンとする健康フェアにおいて、地域住民の健康づくりのため、「そうほくん」から健診受診を呼びかけた。

⑩ アスリートクラブ熊本「ロアッソ熊本」へのスポンサー協賛
年間スポンサーとしてピッチボードを作成しセンターPRを行った。

⑪ テレビ出演等による普及啓発活動
熊本県内のテレビ及び新聞等のメディアを利用し普及啓発活動を行った。

【テレビ出演】

- ・TKU「てれくまくん医療情報室」(熊本県医師会へ協賛)
 - 8月29日(水)「がん征圧月間」 西村 龍一 医師
 - 9月19日(水)「結核予防週間」 西 潤子 医師
 - 10月24日(水)「糖尿病予防週間」 土亀 直俊 医師
- ・TKU「くらしの窓」(熊本県医師会へ協賛)
 - 1月19日(土)「タバコと健康」 西村 龍一 医師

【記事・広告掲載】

- ・朝日新聞
 - 9月2日(日)「がん征圧月間」
- ・くまにちすばいす「ピンクリボンプラス2018」
 - 9月28日(金)「がん検診を受けましょう」 土亀 直俊 医師
 - 1月25日(金)「子宮頸がん検診を受けましょう」 金澤 三佳 医師

5 健康経営「SOUHO革命」

国が推奨する「健康経営」について、センター職員の自己健康管理能力を高め、心身の健康を向上させ、センター経営の発展につなげることを目的に「SOUHO革命」と称し、①栄養、②運動、③禁煙、④睡眠の4つの柱を置き、料理教室、歩数アップ大会、などを実施した。さらに、今年度は健康づくりの一環として職員が自宅などで使用しなくなった健康器具などを持ち寄り活用する「SOUHOジム」を開設し、職員がいつでも運動ができる環境整備を行った。

また、昨年度から開始した職員及び非常勤職員への禁煙外来利用補助は、開始から4名が禁煙外来を受診し、このうち1名が禁煙に成功している。

なお、本取組の推進により日本健康会議から経営的な視点による優良な取組みとして健康経営優良法人2019ホワイト500(大規模法人部門)に昨年に引き続き認定された。

6 学会発表等

第91回 日本産業衛生学会 全国学会(熊本市) 5月17日(木)

「ノーマライゼーション実践工場における健康経営の実践報告
～保健師の取り組み～」

保健師 堀口 真愛

【目的】当センターでは、産業医契約を結んでいる事業場に対し、包括的な健康経営の取り組みを開始した。今回我々はノーマライゼーション工場における健康経営の取り組みのなかで、メンタルヘルスの視点から職場環境改善を目的とした活動を実践したのでその結果について報告する。

【方法】対象の事業場は、従業員 59 名、うち障がい者 26 名（44.1%）のノーマライゼーション工場である。高ストレス者は 11 名（18.6%）、うち 9 名が障がい者であり、健常者群と障がい者群間に有意な差がみられた（ $p < 0.01$ ）。

【結果】ストレスの要因としては、人間関係・コミュニケーション不足の悩みが多くを占めており、その次に身体状況による悩みだった。職場環境改善の大きな目標を〈1. 職員間の相互理解とコミュニケーションの促進〉、〈2. メンタルヘルス対策強化〉とし、1. 集団的アプローチ、2. 個別的アプローチを行った。

【結論】すべての高ストレス者への面談を実施することによって、職場のストレス要因を把握することができ、職場環境改善活動へつなぐことができた。具体的には、個別的・集団的アプローチにより、職員間の相互理解やコミュニケーションが促進され、職場組織全体の肯定的な変化につながっていくことが示唆された。

「産業医契約事業場における特定保健指導対象外の重症化ハイリスク者の調査と今後の展望」

管理栄養士 堀川 善恵

【目的】今回我々は、産業医契約事業場において、特定保健指導対象外の重症化ハイリスク者の実態を把握し、今後の産業保健活動における課題や重症化予防保健指導プログラムを検討した。

【方法】抽出された重症化ハイリスク者の割合、生活背景、リスクの重複状況、生活習慣病（高血圧症・糖尿病・脂質異常症）の治療状況、特定保健指導対象の該当の有無について調べ、さらに特定保健指導対象外の重症化ハイリスク者の属性を調べた。

【結果】調査対象者 1,943 名のうち、重症化ハイリスク者は 258 名（13.3%）だった。重症化ハイリスク者群は非重症化ハイリスク者群に比べ、喫煙者、20 歳の時の体重から 10kg 以上増加している者、1 年間で体重の増減が $\pm 3\text{kg}$ 以上あった者が有意に多かった（ $p < 0.05$ ）。重症化ハイリスク群の生活習慣病の治療状況は、未治療者 166 名（64.3%）で、特定保健指導対象外の者は 176 名（68.2%）であり、その原因として、MetS 非該当 121 名（68.8%）、40 歳未満 21 名（11.9%）、生活習慣病治療中 92 名（52.3%）だった。

【結論】本調査で、重症化ハイリスク者のうち、68.2%が特定保健指導対象外となることが分かった。そのため、産業保健活動における保健指導は、特定保健指導のみではなく、重症化ハイリスク者にも注目し、未治療者やリスク重複者、喫煙者への保健指導が不可欠であると考えている。

第 57 回 日本消化器がん検診学会総会（新潟市）

6 月 8 日（金）・9 日（土）

放射線フォーラム 症例検討会発表

診療放射線技師 山本 高弘

第 48 回 日本消化器がん検診学会九州地方会（福岡市） 9 月 15 日（土）

「胃 X 線検査後の受診者からのクレームについて」

保健師 松本 裕子

【背景】

近年、胃内視鏡検査の受診者数が増加する一方、胃 X 線検査受診者数は減少している。胃 X 線検査の訴えが多いことも課題である。

【目的】

課題の 1 つである検査後の不安内容などについて検討する。

【対象・方法】

過去 6 年間の胃 X 線検査後の電話相談について検討した。

【結果・考察】

平成 24 年度から電話相談のあった 255 件(0.09%)で、内容は、排便関係 50%、腹部症状が 25%、その他(嘔気・嘔吐、アレルギー症状など)18.2%、不明 6.8%と、排便関係と腹部症状が多くを占めた。電話のみにて解決に至っている人が 37.3%と多くを占めたが、医師の診察や検査を希望する人もおり、受診後安心の声も聞かれた。排便困難症状を訴える中には、普段便秘の無い方も 46.9%おり、不安感が大きいと考えた。また、下剤の服薬方法等気になるといった声もあった。検診についての説明がいかに重要かが分かった。さらに、保健師による聞き取り・記載不十分な相談票もみられており、必要な情報を聞き取る能力を向上させていく必要があると感じた。

「当施設における技師の 1 次所見チェックの現状と課題」

診療放射線技師 森 奈美

現在、当センターにおいて技師の 1 次チェックは行っているが、全体的な運用は確立されていない。しかしながら、技師読影補助の必要性は今後重要になってくると思われる。現在、対策型検診（H29 年 約 33000 人）においては、撮影時に気が付いた所見のみチェック表に記入し読影時に添付している。今回、添付したチェック表を読影医がどのように活用しているか調査し技師 1 次チェック方法の問題点および課題を検討し報告する。今後、技師読影補助導入の際にスムーズに移行できるように検討したい。

第 81 回 日本消化器内視鏡技師学会（京都市） 11 月 2 日（金）・3 日（土）

「当センターの上部消化内視鏡検診の増加に関する諸問題について」

看護師 堀江 まどか

【背景・目的】

対策型胃がん検診において上部消化管内視鏡検査（以下 EGD）が選択として可能になり、EGD 検診の幅が広がったが対応できる医療機関、精度管理、経費などの問題点も指摘されている。当センターでの EGD 検診は、2016 年度新規事業所の受け入れにより EGD 検診の希望が増加傾向にある。その為、検査枠 22 名/日からの増加を余儀なくされた。そこで、当センターの取り組みについて報告し EGD 検診の諸問題について検討した。

【対象・方法】

2015年 4,208名、2016年 5,244名、2017年 5,755名/年間

当時、当センターの状況では、新規のEGD検診希望者の受け入れは困難であった為、2016年3月内視鏡室の改装拡張及び設備投資等を行った。検査医は現状の2名/日（派遣医師含む）。検査台固定式2台→可動式3台、洗浄機2台→3台、リカバリー椅子12席→17席に増やし、看護師スタッフを5名/日→7名/日へ増員、担当と業務内容の見直しを行った。

【結果・考察】

22名→30名/日の受け入れが可能となった。しかし次の問題点が挙げられる。①検査待ち時間の延長②リカバリーの更なる不足③検査医（派遣医師を含む）の技術力の違いによる検査の処理能力の違い④有所見者への説明の対応⑤内視鏡看護スタッフの不足⑥看護師の習熟度の違いによる時間の延長⑦注射等のトラブルの発生と対処。これらの中で、スタッフの教育や技術の向上は解決できる問題であるが、専門医師、看護師の確保などについては、困難な課題がある。今後、解決・改善するには、医師、看護師、事務、その他検診に携わる全てのスタッフとの連携と理解、検討が必要である。

【結語】

現時点では30名/日以上検査の増加は容易ではなく、対策型胃がん検診としての受け入れは困難な状況にある。

山口県放射線技師会 第4回胃がん検診X線撮影従事者講習会（山口市）

1月20日（日）

講演「Let's Try 胃透視」

診療放射線技師 山本 高弘

全国労働衛生団体連合会 「労働衛生管理 Vo129No.3 通巻第101号（2018）」掲載

「ノーマライゼーション実践工場における職場環境改善への取り組み

～保健師の視点から～

保健師 堀口 真愛

7 その他

（1）熊本県集団検診機関連絡会

当センターが事務局として、県内12の集団検診機関及び行政との連携協力を図ることを目的に平成30年6月19日（火）及び平成31年2月8日（金）に熊本市において連絡会及び専門部会を開催した。

また、12機関合同での普及啓発活動として、熊本日日新聞などで健（検）診受診を呼びかけた。

（2）熊本県胃検診推進協議会

当センターが事務局として、胃集団検診機関並びに胃がん精密検査機関の精度向上と検診業務等の円滑な推進を目的に研修会を開催した。

- ①平成 30 年 10 月 5 日(金) 熊本市
「胃内視鏡検診の標準的撮影法とリスクマネジメント」
福岡赤十字病院 消化器内科部長 平川 克哉 医師
- ②平成 31 年 3 月 14 日(木) 八代市
「これからの胃がん検診-除菌後の課題-」
済生会熊本病院予防医療センター 副センター長 満崎 克彦 医師
- ③平成 31 年 3 月 26 日(火) 山鹿市
「当センターにおける内視鏡検診の現状」
熊本県総合保健センター医局次長 村上 晴彦 医師

行 事

① 主 行 事

月	日	名 称	場 所
4	2	職員採用辞令交付式	熊本市
5	12-13	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018	熊本市
	15	全国労働衛生団体連合 理事会	東京都
	31	平成29年度事業監査	熊本市
6	5	常務理事会・理事会	熊本市
	13	全国労働衛生団体連合 通常総会	東京都
	19	第1回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
	20	定時評議員会・臨時理事会	熊本市
	25	日本対がん協会 事務局長会議	東京都
8	6	複十字シール募金県知事表敬訪問	熊本市
	23	常務理事会	熊本市
9	14	日本対がん協会 がん征圧全国大会	千葉市
	17	結核予防・がん征圧街頭キャンペーン	御船町
	24	ヘルシーディクまもと	熊本市
	27	職員採用試験（一次）	熊本市
10	11	職員採用試験（二次）	熊本市
11	3	熊本大学紫熊祭（子宮頸がん検診）	熊本市
	6	地域保健研修会	熊本市
	14	日本対がん協会 九州・沖縄ブロック会議	那覇市
	21	常務理事会	熊本市
	30	結核予防会 九州地区会議	宮崎市
12	28	仕事納め式	熊本市
1	4	仕事始め式	熊本市
	11	安全祈願式	熊本市
	24	全国労働衛生団体連合 九州地方連絡協議会	北九州市
2	1	定期人事異動 辞令交付式	熊本市
	8	第2回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
	27	結核予防会 全国大会	東京都
3	19	常務理事・理事会	熊本市
	27	熊本県総合保健センター創立記念式典、永年勤続・資格取得者表彰	熊本市
	29	退職職員 辞令交付式	熊本市

② 学会 ・ 研修会等

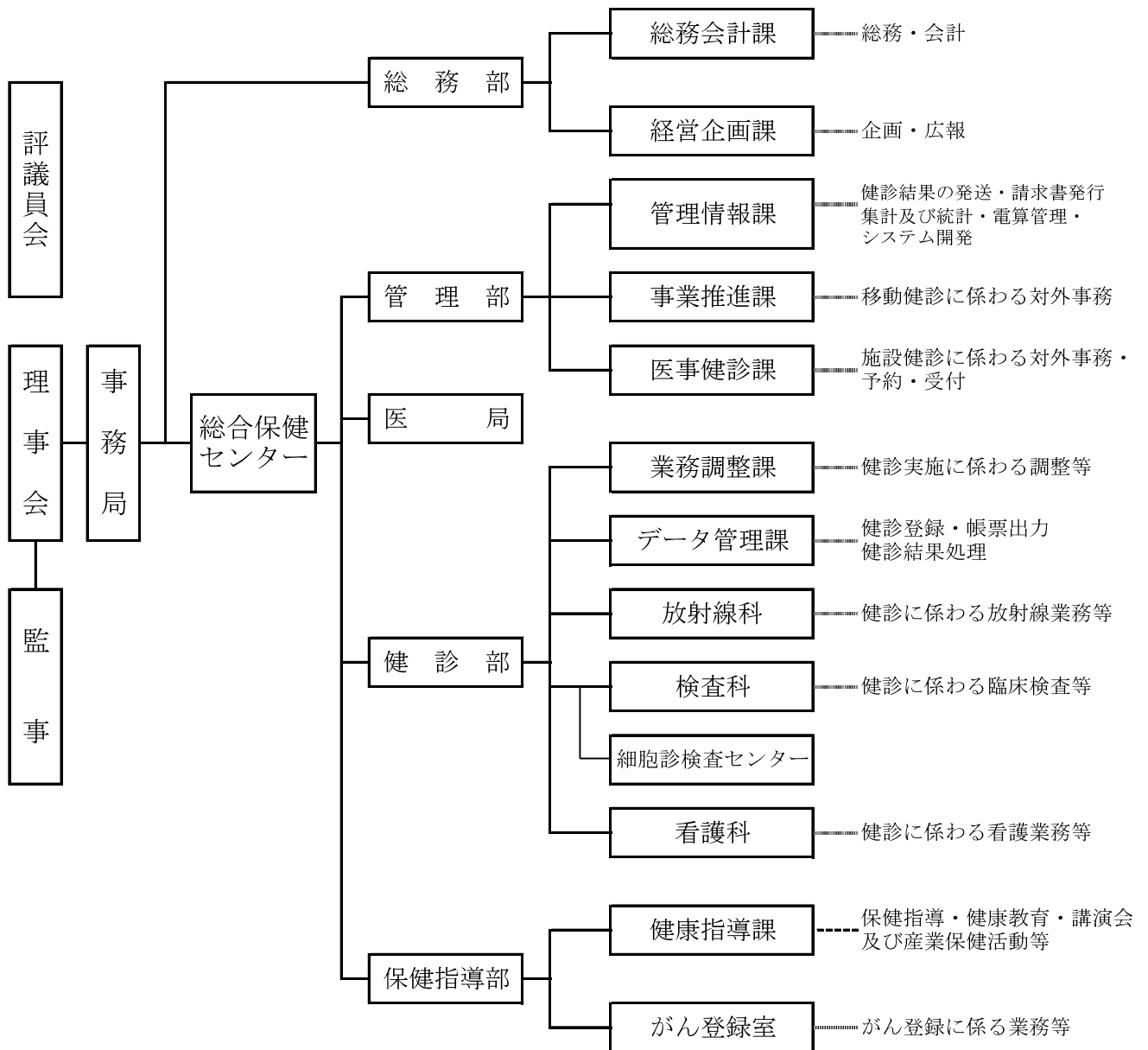
月	日	名 称	場 所
4	13	第77回日本医学放射線学会総会	横浜市
	16	第40回熊本胃画像診断勉強会	熊本市
5	10	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京都
	11	第70回日本産科婦人科学会	仙台市
	16	第91回日本産業衛生学会	熊本市
	26	第75回九州連合産科婦人科学会及び第69回九州ブロック産婦人科医会	宮崎市
	29	「報・連・相」スキルアップセミナー	福岡市
6	1	第59回日本臨床細胞学会総会春期大会	札幌市
	1	第43回日本超音波検査学会学術集会及び第132回医用超音波講義講習会	大阪市
	2	第145回マモグラフィ更新技術講習会	北九州市
	5	平成30年度産業保健研修会 転倒リスク回避のための簡単チェックとその強化法	熊本市
	9	平成30年度熊本産科婦人科学会総会並びに第228回学術講演会	熊本市
	13	日本がん登録協議会第27回学術集会	那覇市
	23	第187回日本医学放射線学会九州地方会	熊本市
7	4	人事担当者の役割と基本知識	福岡市
	4	がん対策に関する新規担当者研修会	熊本市
	10	平成30年度特定健診・特定保健指導担当者研修会	熊本市
	12	国際モダンホスピタル2018	東京都
	18	日本対がん協会 受診者拡大研修会	東京都
	25	事業場内メンタルヘルズ推進担当者養成講座	熊本市
	26	健康いきいき職場づくりフォーラム夏季セッション「人財戦略としての健康経営～データ活用のすすめ」	東京都
	28	第20回肺がんCT検診認定技師講習会	滋賀県大津市
	30	産業医科大学産業医学基礎研修会夏期集中講座	北九州市
30	同一労働同一賃金緊急解説セミナー	熊本市	
8	5	肺がんCT検診認定機構主催 第15回認定医師更新講習会兼認定医師新規認定講習会	東京都
	21	(公財)公益法人協会主催 会計セミナー福岡基礎編	福岡市
	27	2018年度労働衛生サービス機能評価 施設認定実務責任者研修会	東京都
	30	第59回日本人間ドック学会学術大会	新潟市
	30	公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会	熊本市
	30	日本産業衛生学会 産業保険看護専門家制度委員会認定基礎研修 (Bコース)	東京都
	31	①第59回日本人間ドック学会学術大会②2018年第2回人間ドック健診専門医研修会	新潟市
9	4	中災防主催 健康づくり実践セミナー	東京都
	6	中期経営策定と予算編成の実務	福岡市
	6	平成30年度第1回生活習慣病予防健診実施機関会議	熊本市
	8	第76回細胞検査士教育セミナー	福岡市
	8	第27回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	東京都
	15	第9回熊本県院内がん登録研修会	熊本市
	15	日本消化器がん検診学会九州地方会	福岡市
	19	平成30年度依存症支援者研修会 (自殺予防研修会)	熊本市
26	働き方改革と実務対応策	福岡市	
10	5	第54回日本医学放射線学会秋季臨床大会	福岡市
	11	経営者向け採用・定着力講演会	熊本市
	17	パライフ熊本勤労者塾 働き方改革 関連法案の改正と押さえておくべきポイント	熊本市
	19	女性リーダー養成講座	福岡市
	28	日本超音波医学会第28回九州地方会学術集会及び第17回九州地方会講習会	福岡市
	29	平成30年度特定保健指導実施機関及び協会けんぽ熊本支部の保健師・管理栄養士合同研修会	益城町

月	日	名 称	場 所
11	2	第81回日本消化器内視鏡技師学会	京都市
	2	JDDW2018KOBE	神戸市
	3	第33回日本女性医学学会学術集会	岐阜市
	5	治療と仕事の両立支援セミナー	熊本市
	5	第1回ブライイト企業セミナー「自律型組織の造り方～新しい働き方WAAからの考察～」	熊本市
	7	九州ホスピタル2018セミナー「働き方改革と病院経営の両立を目指す！よく分かる病院経営再確認セミナー」	福岡市
	9	日本人間ドック健診協会 第3回九州健診経営研究会	福岡市
	9	第112回日本消化器病学会九州支部例会及び第106回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	鹿児島市
	10	第74回九州消化器内視鏡技師技術研究会	鹿児島市
	15	一般社団法人 日本経営協会 失敗しないIT・情報システムの調達必須知識とトラブル防止のポイント	東京都
	17	第57回日本臨床細胞学会秋期大会	横浜市
21	平成30年度産業廃棄物排出事業者研修会	熊本市	
29	管理者基礎セミナー	福岡市	
12	1	第21回「九州胃と腸大会」	福岡市
	3	平成30年度生活習慣病対策関係者研修会	熊本市
	4	全衛連 健康診断機関職員研修会基礎コース	大阪市
	7	人を育て利益を生む「労働分配率経営」セミナー	福岡市
	11	第36回結核予防会事務職員セミナー	東京都
	11	結核予防会 保健師・看護師等基礎実践コース	清瀬市
	14	産業保健研修会 喫煙の健康影響と禁煙支援	熊本市
	17	全衛連 保健師・看護師等研修会（保健指導コース）	東京都
	18	平成30年度全国がん登録都道府県行政担当者研修・実務者研修（中級）	東京都
	19	平成30年度がん検診等未受診者対策支援研修会	菊池市
20	結核予防会平成30年度胸部画像精度管理研究会開催にかかる職員派遣	東京都	
1	13	日本消化器内視鏡学会主催「新専門医制度説明会」	東京都
	17	特定健診・特定保健指導担当者研修会	熊本市
	20	平成30年度第4回胃がん検診X線撮影従事者講習会講師派遣	山口県
	21	熊本市胃がん検診（内視鏡検査）精度管理研修会	熊本市
	22	全衛連 ストレスチェック面接指導研修会ⅠⅡ（医師）	東京都
	26	第7回熊本消化管造影懇話会	熊本市
	29	働き方改革関連法説明会	益城町
2	1	第15回日本消化管学会総会学術集会	佐賀市
	3	第12回日本カプセル内視鏡学会学術集会	佐賀市
	7	中災防主催 健康づくり実践セミナー	東京都
	7	平成30年度第2回生活習慣病予防健診実施機関会議	熊本市
	8	設備投資における意思決定の基礎実務と採算性分析	東京都
	13	平成30年度熊本市国保生活習慣病重症化予防研修会	熊本市
	20	ポリテクセンター熊本 基礎的ITセミナー「SMS」を活用した情報発信	熊本市
	24	第35回熊本県臨床細胞学会学術集会	熊本市
	25	平成30年度糖尿病予防対策関係者研修会	熊本市
28	日がん第42回保健師・看護師研修会	東京都	
3	2	公益社団法人日本超音波医学会「超音波診断講習会（乳腺）」	大阪市
	2	第40回マンモグラフィ技術講習会	和歌山市
	9	第157回マンモグラフィ更新技術講習会	京都市
	9	第4回くまもと乳腺診断セミナー	熊本市
	12	平成30年度熊本県糖尿病性腎性重症化予防プログラム	熊本市
	17	平成30年度熊本県健康を守る婦人の会会員研修会	熊本市
	30	第83回日本循環器学会学術集会	横浜市

1 組 織

機 構 図

平成31年3月31日現在



2 職員構成

平成31年3月31日現在

職 種 別	区分	医師	事務	主事	放射線	臨床検査	看護師	保健師	栄養士	合計
	役員	2	1							3
	職員	3	37	4	22	30	14	10	3	123
	嘱託	2		9	1	3		2		17
	合計	7	38	13	23	33	14	12	3	143

3 役 員

平成31年3月31日現在

役 職 名	氏 名	公 職 名
理 事 長	福 田 稠	熊本県医師会 会長
副理事長	岩 谷 典 学	熊本県総合保健センター 総括医
副理事長	坂 本 不出夫	熊本県医師会 副会長
副理事長	田 原 牧 人	熊本県健康福祉部健康局 健康局長
常務理事	伊 藤 敏 明	熊本県総合保健センター 事務局長
常務理事	新 谷 良 徳	熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課 課長
常務理事	土 亀 直 俊	総合保健センター所長
常務理事	水 足 秀一郎	熊本県医師会 副会長
理 事	浦 田 健 二	熊本県歯科医師会 会長
理 事	嶋 田 晶 子	熊本県看護協会 会長
理 事	棚 橋 康 子	熊本県健康を守る婦人の会 会長
理 事	山 下 康 行	熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野 教授

(役員総数12名)

監 事	大 柿 悟	熊本県医師会 理事
監 事	稲 岡 政 弘	稲岡政弘税理士事務所 所長

(監事総数2名)

4 評 議 員

平成31年3月31日現在

役 職 名	氏 名	公 職 名
会 長	金 澤 知 徳	熊本県医師会 副会長
副会長	池 田 洋一郎	熊本県保健所長会 会長
評議員	岩 元 俊 弘	熊本日日新聞社 専務・総括
評議員	大 仁 田 尚	肥後銀行 取締役執行役員人事部長
評議員	片 渕 秀 隆	熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学分野 教授
評議員	河 津 延 雄	テレビ熊本 取締役
評議員	北 里 耕 亮	熊本県町村会 評議員
評議員	田 村 仁	熊本商工会議所 事務局長
評議員	中 嶋 憲 正	熊本県市長会 会長
評議員	牧 野 俊 彦	熊本県国民健康保険団体連合会 常務理事
評議員	南 久 則	熊本県栄養士会 会長
評議員	宮 崎 隆 一	熊本県医師会 理事
評議員	森 山 憲 治	熊本県薬剤師会 副会長

(評議員総数13名)

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年5月

公益財団法人 熊本県総合保健センター